

2016年1月15日（金）～17日（日）

災害地 広島・神戸 を巡る

— ツアー参加者 —

池田 邦昭	中島 光明	山口 章
田中 喜世美	山田 美智子	田中 晃
小林 秀樹	早川 雅子	相原 延光
増田 佳恵		

目的と背景

広島：災害現地見聞および弁護士活動

- ・人災か天災か、横浜市緑区でも土砂災害発生

神戸：阪神淡路大震災から21年目の現状は

- ・風化させて良いのか、竹灯籠への誓い

広島市
廿日市市

広島

1月15日(金)

1月16日(土)

廿日市市

(大野陸軍病院)
(原爆+枕崎台風)

(1月16日)

市内・江波町
(江波山気象館)

山本地区
(平成11年豪雨災害)
(ハザードM活きず)

八木・梅林地区
(公園の大禹謨碑)
(梅林小の慰霊碑)

④ 広島弁護士会館

今田弁護士の話

⑤ なかしま
和夕食

① ~ ⑤ は全員行動を示す



① 広島駅

(集合)



② 梅林駅

(現地集合)



③ 八木ヶ丘地区
山根副会長ガイド
(住宅地、町内会館、
山体傾斜崩壊地)



廿日市市 枕崎台風関連 調査訪問

同行者 3名 報告者 山田 美智子

原爆災害調査班の活動と遭難

1945年9月17日、枕崎台風が襲い、山津波が起り、一瞬にして大野陸軍病院の中央部を壊滅させ海中に押し流した。

入院中の被爆者と職員合計156人の尊い生命が奪われた。



—調査班が本拠地とした大野陸軍病院—



—山津波で倒壊した大野陸軍病院—

枕崎台風関連 調査訪問

原爆災害調査班の活動と遭難

この中には日夜原爆への対策、調査、研究に献身した、京都大学教授、研究班員ら11人の殉職者が含まれていた。



一水害死没者供養塔一



一京大原爆災害調査班遭難記念碑一

広島 江波山気象館 訪問

同行者 4名 報告者 山田 美智子

旧気象館で現在は気象博物館として一般公開している。広島市域の気象予報を出している。

1945年9月17日枕崎台風襲来。同年8月6日の原子爆弾による被害に続き深刻な打撃を受ける。



↑
気象館から
市街を見る
←気象館
被害を説明
する職員 →



広島 山本地区

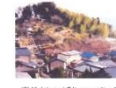
土砂災害被災現場

調査・報告者

田中 晃

- ・ 報告書から、3時間雨量109mm、同24時間175mm
- ・ がけ崩れ写真多い、木がない、建物の窓有無で犠牲に
- ・ 当地区の特徴など

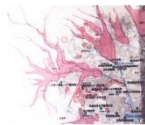
p2016「広島と神戸の被災地を巡る」 報告書(広島山本地区土砂災害被災現場)
2016年1月15日AM 田中(晃)

報告項目 広島山本地区災害現場報告	報告者: 田中 晃	
<主な報告内容>		
1. 調査の目的・実施 雨量は 3時間 109mm 24時間 175mm 各種報告書から、裏のがけが崩れる写真が多く、がけに面する窓のある家で子どもの死者2名、窓がない家は助かった。		
(当地区の特徴) 広島駅から4つ目の安芸長塚駅、山に向かう開発。道路は狭く、坂地で行き止まり、タクシーのナビも使えない。山中腹部の家並みと山の上の開発地との間に線が残っている。大正15年、中心の山本川が氾濫、改修。それ以上の豪雨?ハザードマップからは住めない?		
2. 災害の発生は3つに分類される ①家の後ろの急斜面地が崩れた。被災写真では木は少ない。 ②水が道路や排水施設を下り、放水路や畑を埋め、浸水した。 ③川の排水路の護岸を背面から崩した。砂防堤の整備		
3. 参考写真と説明		
		
		
4. 地元の人の説明・資料 ○(運転手) 裏土と岩盤の間の砂に水が溜まり、滑らざるの説明。 ○(文庫) 雨量の積算の点数の判断に迷った。避難所を開いた後避難、夜間の豪雨と安全 ○(文庫) 看護師・介護福祉士がチームを組み、640軒、このうち支援が30件		
<提言など> ○斜面地の崩壊対策を、特に木の少ない斜面 (斜面地の補強、窓の補強・閉鎖、防護柵・ネット) ○ハザードマップ(浸水(内水・洪水)・土砂災害)から異常時の被害想定、避難路の確保と整備 ○平成11年6月29日集中豪雨で作ったハザードマップを活かせなかった。(自分で危険を判断)		
資料 山本地区・長束地区被害地プロット 両ハザードマップ(長束11年6月29日災害後作成)		

- 調査の目的と実施 (時間雨量、崖崩れ側の窓)
- 災害発生は3分類 (急斜面地、水路が逸水、砂防堤の整備)
- 参考写真と説明 (大正15年災害写真も)
- 地元の人の説明・資料 (運転手や文献から)
- 山本地区の状況 (写真と説明)
- 八木地区の被害状況 (被害・被災状況)
- 提言など (斜面地の崩壊対策、ハザードマップの活用／活かせず)

広島 山本地区 土砂災害被災現場

2016 広島・八木が丘町内会・山本地区関係写真
山本地区の状況



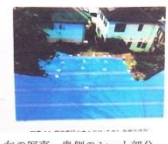
平成 11 年災害後のハザードマップ



野放図に伐採等が行なわれている



がけ崩れ地区の地図



左の写真 奥側のシート部分

報告書からの転記・抜粋（山本地区報告 出展不明）

- がけ崩れ4カ所の特徴 いずれも木がない、高さは5m程度、建物に窓の有り無し
- 真ん中の2ヶ所の崩壊現場写真の説明
- 向こう側 高さ7~8m、巾5~6m、深さ50cm、1階部分に侵入、2名が犠牲者
- 手前 高さ7~8m、巾3~4m、深さ50cm、1階外壁面に衝突、人的被害なし
- 真ん中に ブロック積み擁壁が設けられていた
- *崩壊部の上部は崩壊部の上部は人工的な平坦地（荒地）



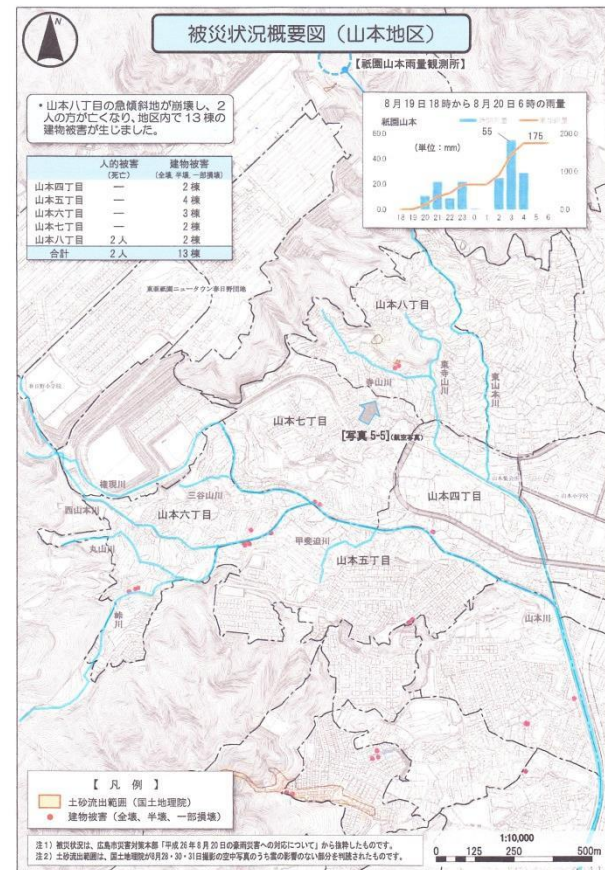
川の排水路が場所を取る



下水路 深い



合流部の破損状況



広島 八木地区

水害史碑「大禹謨」「忘れまい8.20」

調査・報告者 小林 秀樹

案内者：福谷昭二さん（NPO法人佐東地区まちづくり協議会相談役
笹岡繁さん（同常任理事）、中西浩二さん（市立梅林小学校校長）
下原正樹さん（市立梅林小学校教頭）

2016「広島と神戸の被災地を巡る」報告書

2016年 2月 22日

報告項目：水害史伝る碑「大禹謨」再訪、他	報告者：小林秀樹
<主な報告内容>	
1)「大禹謨」碑は44年前、住民の悲願を背景に建立された【参考画像①-③】	
太田川が広島平野に出る右岸の治水碑「大禹謨」を訪ねた。佐東地区・八木の公園(禹王公園)にあり、碑の高さ1.8m、幅3.8m、奥行き1mで、国内高碑関係では最大規模である。梅林小学校庭しほ3西方3kmの篠原山から切出された石で、当時30トンのレッカーを使用したと伺う。	
背面碑文は「人生の哀愁を秘めた大川……元祖、黄龍、赤松、明治7年、17年、大正8年、12年、15年、昭和18年、20年の水禍は大きく、特に承応2年の洪水には死者5000人以上……昭和18年の大出水は八木村、川内村、緑井村の堤防を決壊し、濁流は全村に（中略）……太田川中流部の改修がなり、願望の吉川幹切工事昭和44年3月完成……黄河の水を治めた夏の禹王の偉大な はかりごと にあやかり大禹謨を建立して 太田川の歴史を並び治水の大業を称える	
昭和47年5月20日 佐東町長 池田卓人 撰」とある。	
2)忘れられていた治水碑、住民に根付きはじめた矢先【参考画像④-⑥】	
「碑の存在はほとんど地区住民に知られていなかったが、平成26年10月18日～19日開催予定だった「禹王サミット in 広島」に向けた取組みと10年前から続いているホテルの里づくり事業が進み、ホテル祭り式典を碑の周辺で開催するなどかなり浸透してきた」と、案内をして頂いた一人の笹岡さん(NPO法人佐東地区まちづくり協議会常任理事、サミット事務局)は述べている。	
太田川治水で貢献する高瀬堰はこの場所であり、支流吉川はここから取水している。ここから1.7kmがせせらぎ公園でホテルの騒音も聞かれると云う。笹岡さん100名以上のメンバーに子どもたちも加わり年輪を通じて守っている。林間を縫う緩やかな流れにふれあうことが出来た。	
3)広島土砂災害で「禹王サミット」は誌上開催となった【参考画像⑦-⑩】	
6年前に大禹謨碑を訪ねて。碑自体は変わっていないが、周辺整備がなされて、公園に相応しい景観と化した。林間を通して豪雨災害の山崩、山間部復興工事の大変な重機が見えた。	
「禹王サミット in 広島」は、開催直前の8月20日にこの地域を襲った広島豪雨土砂災害で、誌上開催となつたが、地元で以前からこの碑をも研究されている笹岡さん(佐東地区まちづくり協議会相談役)は、このサミットの実行委員会を招かれた方である。今度もお世話になり、現地サミットの無念の中止と誌上開催の決断について碑の前に話して下さりました。更に、背面に回ったのは碑文のことばと言葉の聞きや碑建立の経緯など、長年の水害から逃れたい住民の切実な訴えが当時の佐東・池田町長の撰文に込められていると静かにも語り聞かれた。	
4)梅林小学校は広域避難所、混乱はあったが住民の絆は強かった【参考画像⑪-⑬】	
市立梅林小学校前庭に建てられた石碑を笹岡さんの紹介で見てることが出来た。碑面には「広島土砂災害忘れまい8・20」、背面は学区区民の犠牲者65人の名前が刻まれている。	
案内の下原教頭は石碑の前に通学の子や家庭に犠牲者は出なかったがと小声で話された。	
福谷さんと笹岡さんは一人一人のお名前を挙げながら親交が深かったこと、町や地域のために動かれた方々だったと、また、災害後に赴任された中西校長は「碑がここに建ったのは意義深い、地区行事・運動会・グラウンドゴルフなどで来校者に災害のことを伝わりつづけて行けば」と話された。	
広域避難場所だった梅林小学校は、土砂崩出しで八木雨木が埋め尽くされて溢水して湧水(砂盤で約30cm)、当日朝は相当混雑したが、軽微被害だった近隣住民・商店・企業やボランティア団体など多くの応援を得て、670名が体育館に避難できたと聞く。地元ロータリークラブの支援も各所で長くつづいている。	
<提言など>	
旅を通じて、その成せるのは人の心であり、その繋がりが地域を元気に再生復興するパワーと改めて感じます。貴重な見聞を諸活動の中で活かすことが私の使命と思っています。	
<その他>	
掲載の参考画像は、大船・高瀬・増田(art)の3氏から許可を得て掲載しています(当日撮影のものではありません)	

「大禹謨」：国内最大禹王の碑、44年前建立
「忘れまい8.20」：1年後梅林小校庭に建立

□大禹謨碑の建立

(1972年、住民の悲願で)

□忘れられた治水碑

(水路とセツト、地道なボランティア活動で)

□直前の土砂災害（禹王まつりは誌上開催）

□梅林小学校は広域避難所（当日朝は大混乱）

□提言（人の心が地域を再生復興）

広島 八木地区 水害史碑「大禹謨」

- 太田川水害の歴史教訓を伝える碑で治水王の禹王を祀る。44年前の建立で新しく、国内で最大規模。近年地元ロータリークラブの支援で敷石や説明板などが整備された。



広島 八木地区 大禹謨に集う住民ら



10年前から地元NPOの人たちを中心にホタルの里づくり事業が進められて、ホタル祭りやせせらぎの夕べをしたり、第4回全国禹王まつり開催*を契機に小学生や市民の多くの人たちに治水碑「大禹謨」が知られるようになりました。

(*災害発生で誌上開催となりました)



広島 八木地区 「忘れまい8.20」慰霊碑



市立梅林小学校はJR梅林駅の西側に隣接している。土砂災害は直接受けなかったが、用水堀が土砂・流木で堰止めされて溢水、グラウンドが膝まで浸水して、広域避難所として混乱したという。

学区で通う生徒や家族に犠牲者はなかったが、65の尊名が刻まれている。



広島 八木ヶ丘町内会

同行者 10名

土砂災害現場

報告者 山口 章

- ・案内者 山根健嗣さん（八木ヶ丘自治会副会長）
- ・山の傾斜地に立地の住宅街、八木ヶ丘地区を歩く見る
- ・自治会館2階でお話を聞き Q/A

2016「広島と神戸の被災地を巡る」報告書

2016年 1 月 30 日

報告項目: 広島土砂災害現場 (八木ヶ丘町内会)	報告者: 山口 章 (044) (訪問日時: 2016 年 1 月 15 日午後)
<主な報告内容> 広島で平成28年8月に「大規模土砂災害」が発生し、「悲惨さ・追悼の念」が脳裏から離れない内に、10月6日には、当地「緑区白山」でも台風・大雨による被害で、1名の方を失う災害が発生し、大ショックを受け、未だに夢に浮かびます。その解消に向け、この度訪問が企画されたので、喜んで参加しました。 目的は、現地を訪問して、①事前にしておくべきこと、②発生時にすべきこと、③発生後にすべきことを学びたく参加しました。訪問して確認したことをメモします。細かいことは直接お尋ね下さい。 ①発生前: 広島は花崗岩が多く、土砂災害発生の危険の高い所であるが、地域ではその危険度と対応について浸透していない(当地区も同じであった) ②発生時: 避難勧告の通告が遅い、行政・自治会・住民の対応も遅く、避難が遅れた。(当地区も同じであった) ③発生後: 避難所の運営、当初は大変であったが、落ち着きを取り戻した。(当地区も同じ)、 ・順次、落ち着き、行政の援助も得て「梅林学区防災マップの作成」にこぎつけ、訓練に使用している。(マップの作成は今後) ④今後: まちを挙げて「リスクとリスクマネジメント」の徹底、過去の反省ばかりでなく、今後の対応として、ア)防災コミュニティづくり、イ)リスクとリスクマネジメントに取り組んでゆく。(当地区も全く同じ) 面談・視察で、多くの賛同を得て勇気をもった訪問であった。 <提言など> 防災は「コミュニティづくり」と「リスクとリスクマネジメント」である。	

- 背景 (8/20広島災害、10/6緑区白山災害と対比)
- 発生前 (危険と対応が未浸透 (横浜も同じ))
- 発生時 (避難勧告の周知が遅く避難遅れ)
- 発生後 (避難所運営、学区防災map作成と訓練)
- 今後 (リスクとリスクマネジメントの徹底)
- 広島訪問、面談・視察で勇気もらう

広島 八木ヶ丘町内会 土砂災害現場

- 背景（8/20 広島災害、10/6 緑区白山災害対比）
- 発生前（危険と対応が未浸透（横浜も同じ））
- 発生時（避難勧告の周知が遅く避難遅れ）



—広島 土砂災害の現地—
(2枚共)

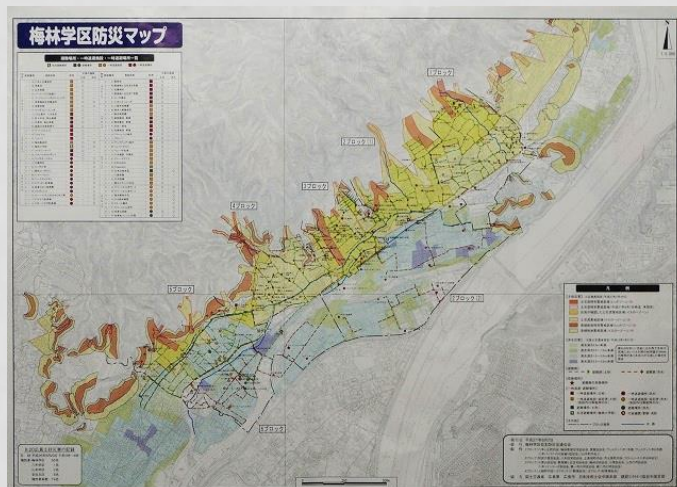


—横浜 緑区白山の現地(上)—

広島 八木ヶ丘町内会 土砂災害現場



—状況説明される山根さん—



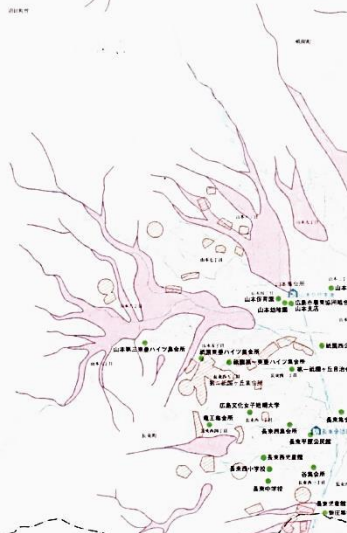
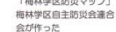
—梅林学区防災マップ—



—山根さんと質疑—

田中 晃

- ## □ハザードマップ（平成11年作成は・・・）



一、災區別色

広島 土砂災害 八木地区の情報収集



広島 土砂災害

同行者 10名

情報収集・概要

報告者 山田 美智子

- ・ 山根健嗣さんの話を聞き、八木ヶ丘地区を歩く見る。
- ・ ほかに、江波山気象館(1/15午前)、廿日市市(旧大野町)を襲った枕崎台風による殉難者関係碑を調査した。

2016「広島と神戸の被災地を巡る」 報告書
2016年 2 月 1 日

報告項目: 広島土砂災害・阪神・淡路震災の 情報収集・概要について	報告者: 55 山田美智子
<主な報告内容> 『平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害』の概要 平成26年8月20日 広島市北部の安佐北区や安佐南区等の住宅地で豪雨に伴い、大規模な土砂災害が発生した。 「災害の気象要因」としては、秋雨前線に向かう暖湿流と不安定な大気を主な要因とする集中豪雨、バクビルディング型線状降雹水等の停滞。 「気象記録」としては、安佐北区で287.0ミリの最多雨量 「人的被害」は75人(災害関連死を含む) 「全壊」133棟「半壊」122棟「床上浸水」1,301棟。 2014年8月20日 午前3時20分～40分にかけて局地的な大雨によって安佐北部、安佐南区八木・山本・緑井等の住宅地後背の山がくずれ、同時多発的に大規模な土砂災害が4時20分ごろには可部3丁目付近で根谷川が氾濫した。 災害対策本部のまとめでは、8月22日時点で土砂崩れ170ヵ所 道路や橋梁被害290ヵ所を確認 安佐南区から安佐北区にかけて 約50ヵ所で土砂流出 (国土交通省の発表によると土砂災害の人的被害として過去30年間日本でも、3時20分に崖崩れの通報があったのにもかかわらず、広島市からの避難勧告発令は4時30分、1999年発生した6.29豪雨災害の教訓が生かされなかった。 しかし、もし避難勧告が早く出されたとしても、暗闇で水が激しく流れる中ではたして避難ができるか、課題もある。 「震災証言書」は9月28日までに4,696件発行。「がれきや土砂を撤出」するのに100人以上「地質」としては水分をふくみにくい「まさ土」の地盤は広がり表層崩壊は発生したと当初考えられていたが、まさ土だけでなく礫層などかたい地盤流失も確認された。 砂防ダムの整備の遅れも被害の原因。 ※今回八木ヶ丘町内会の山根副会長のお話を聞きながらにも地域での町内会の取り組みや対応がわかり参考になることがたくさんあります。 異変に気がついたが少し明るくなって道路が通行できるか様子を確認して避難した。異様なにおいがあるのも特徴。もっとも被害が大きかった八木3丁目には捜索隊が集中。八木ヶ丘団地に行政不明者がいても後まじりだった。消防も全休を把握できておらず町会が地図を渡した。 例のないスピードと破壊力。2次災害の恐れがあった。道路は大渋滞。 避難所に行くと町内会の方の安否確認。避難した方々は近所の方と仲間の中声を掛け合い手と手を繋いで協力しながら避難した。避難もバッキング、重傷はない。 世帯別の被害調査表を作成。ボランティアの方々の対応。マスキングの取材。 復旧作業が一段落したのは10月等参考になる体験を知ることが出来ます。	

- 災害の気象要因 (秋雨前線・暖湿流ほか)
- 気象記録 (安佐北区で最多雨量287ミリ)
- 人的被害と物的被害 (75人／全壊133棟など)
- 約50ヵ所の土砂流出
- 遅れた避難勧告発令 (99年の教訓活かされず)
- 八木地区の被害状況 (被害・被災状況)
- 発災以降の地域の取組みなど (山根さんの話)

広島 土砂災害 情報収集・概要



広島 土砂災害 八木地区の情報収集



―被災現場で復興が進む―



広島 弁護士会の支援活動

参加者 10名 報告者 中島 光明

- ・講話者 今田健太郎さん（広島弁護士会所属）
- ・発災当日、災害対策本部を設置。現地へボラ派遣、弁護士会news、被災者支援無料相談、自治会でまちづくり意見交換会など実施。

2016「広島と神戸の被災地を巡る」報告書

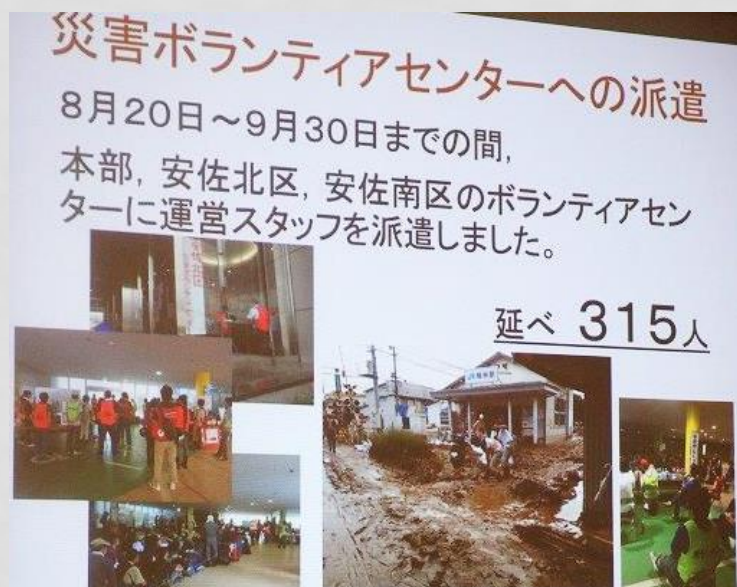
2016年 2月 5日

報告項目: 広島弁護士会・今田弁護士	報告者: 中島光明
<主な報告内容>	
日時: 2016年1月15日(金) 16:00~17:15	
場所: 広島弁護士会館 会議室 講師: 今田健太郎氏(広島弁護士会)	
参加者(10): 相原、池田、小林、田中(晃)、田中(憲)、中島、早川、増田、山口(章)、山田(美)	
テーマ: 平成26年広島豪雨災害 ~広島弁護士会の支援活動について~	
(説明資料: 2015年12月日連災害復興委員会発表)	
1. 被災状況: 人的被害(死者75名、負傷者89名)、物的被害(全壊179棟、半壊217棟)	
2. ライフライン復旧: 電気 8/29 復旧、水道 10/1 復旧、JR可部線 9/1 運転再開	
3. 弁護士会の活動: 8/20(未明)土砂災害発生、	
8/20(正午)災害対策本部を設置、	
8/22(18時~)日弁連派遣の小口弁護士を交え2回対策本部会議、	
8/23~現地へボランティア派遣、	
8/25 弁護士会として支援策についての記者会見、	
8/26 広島弁護士会ニュース第1号発行 9/8 第2号発行 10/3 第3号発行	
8/27~弁護士会館にて被災者支援の無料相談、	
8/31(18時~)日弁連派遣委員と「災害時における弁護士会の活動」の勉強会: 80名参加	
9/3 今後の避難所での円滑な法律相談対応やまちづくりにつき協議、行政に要望	
9/14(13時~)現地自治会での出張相談会及びまちづくり意見交換会: 15名参加	
10/5~2015/3/31: 現地での活動参加は46回	
<印象に残った話>	
・豪雨による土砂災害は全国どこで起こってもおかしくない。	
・災害対策委員会を作っていたが対応は及ばなかった。	
・日弁連派遣の弁護士(東日本大災害の経験者)との勉強会は有効だった。	
・8/20~8/30の40日間に弁護士会からボランティアセンターに延べ315名を派遣した。	
・救援ボランティア活動から被災者との信頼関係が生まれ、その後の法律相談などの活動が円滑に実施できた...文字表現ばかりの広報資料は伝わらない。	
・死者が少なかった安佐北地区は、避難訓練を行っていた。	
・14団体で構成する「広島県災害復興支援士会連絡会」は、法律系・技術系・福祉系・その他と専門性が異なり、特に福祉系との連携が有益な活動に結びついた。	
・士業連絡会は平時から勉強会をしておくこと、今後は医師会などの参加が必要か。	
<現地アンケート調査結果>	
現地との意見交換会の結果はHPに掲載 https://www.hiroben.or.jp/	
<今後の課題>	
・同一地域において被害状況が異なり、罹災証明に格差が生じること。	
・災害弱者に寄り添っている福祉士の意見は、災害時の弁護士活動に必要。	
・何事においても平時からの準備が不可欠。	

- 被災状況（人的被害、物的被害）
- ライフライン復旧（電気、水道、鉄道）
- 弁護士会の活動（本部設置、現地ボラ、無料相談他）
- 印象に残った話（ボラセン派遣延べ315名、安佐北区は避難訓練していた、他）
- 現地アンケート結果（意見交換会結果はhpに）
- 今後の課題（福祉士の意見必要、平時の準備）

広島 弁護士会 の支援活動

- ・ 講話者 今田健太郎さん（広島弁護士会所属）
- ・ 発災当日、災害対策本部を設置。現地へボラ派遣、弁護士会news、被災者支援無料相談、自治会でまちづくり意見交換会など実施。



—今田さんの映像から—

広島弁護士会ニュース 第1号・再改訂版

～豪雨災害の被災者のみなさまへ～（2014. 8. 27 発行）

広島県の豪雨災害により、お困りのこと（住宅、借金、保険、相続、契約、公的支援等）がありましたら、何でも弁護士にご相談下さい。

★弁護士会に無料電話相談ダイヤルを開設します。弁護士が無料で相談に乗ります。

土日祝日を含め毎日、12時～20時 ☎082-502-0026

※ 8月27日（水）12時より受付開始します。

★**面談相談**をご希望の方は、紙屋町法律相談センター（広島そごう新館6階）において、豪雨災害関連の無料相談（1回40分）を実施しています。事前にご予約のお電話をお願いします。

予約受付時間：9時30分～16時（火曜日を除く） **予約受付 ☎082-225-1600**

相談日時：平日（火曜日を除く）・土曜日 10時10分～16時25分（水曜日は19時30分まで）

日曜日・祝日

10時10分～17時05分

Q1 罹災証明書の発行を受ける必要が
ありますか？

Q3 加入している保険会社がわからな
くありません。

—広島弁護士会ニュースは第4号まで
発行されました—

広島 弁護士会 の支援活動

- ・ 講話者 今田健太郎さん（広島弁護士会所属）
- ・ 発災当日、災害対策本部を設置。現地へボラ派遣、弁護士会news、被災者支援無料相談、自治会でまちづくり意見交換会など実施。



—広島弁護士会の今田さんら—

広島 『なかしま』で夕食



— 「なかしま」の大将と女将さん—

— 同行者の中島さんは大将の伯父さん—



神戸市内

1月16日(土)
17日(日)

1 松山さんと懇談会
Rote・Rose
(中央区北野町)

情報収集と提供
危機管理センター
(中央区江戸町)

「神戸の壁」写真展
ジュンク堂三宮
(中央区三宮町)

「語り部」、新プロジェクト
防災、人と未来センター
(中央区脇浜海岸通り)

1.17のつどい
東遊園地
(中央区加納町)

神戸 阪神淡路大震災 概要や情報

参加者 4名

報告者 山田 美智子

21年前の災害は語り継がれ、多くの教訓を伝えている。一方、世代交代で記憶・教訓が薄れかけている。

予測され、必ず来る巨大都市地震を想定すると、毎年この地を踏む度に調査・報告・実践の重さを感じます。

□兵庫県南部地震

(日時、震源地、被害状況など)

□震災の教訓

(初動体制、教訓は生かされたか、備えは)

□これからの取り組み

(風化させない、新しい公共、再開発のこれから、人未来センターの伝え、「EARTH」心のケア)

□提言など (事前調査と準備が必要、ガイドも)

「阪神・淡路大震災に関する概要や情報」
【被害の状況】
◆1995年1月17日午前5時46分 震源地：淡路島北部
震源の深さ：16km マグニチュード：7.3 死者数 6,461
負傷者数：40,092名 行方不明者：3名
家屋被害(全半壊)：240,956棟 避難所数：1,153ヶ所
避難者数：316,878名 被害総額：約9兆9268億円
【震災の教訓】◆初動体制の大切さ災害対策委員の不足・情報通信システムのマヒ
防災関係機関相互の連携の大切さ・地域防衛力の大切さの再確認
近代化都市での災害時の暮らし(高速道路の閉鎖・高層建物の落下・停電等)
【教訓は生かされたか】
◆災害の備えは充分には進んでいない。
○震災は15年度の住宅耐震化率を97%とする目標を掲げてきたが
85.4%にとどまり目標達成は困難。
○神戸市の新長田駅南側の再開発事業は44棟を建設する計画だが6棟が
未着工。
○被災地は借り上げ復興住宅の確保を進めるなど課題が残っている。
○後援者は復興住宅で33人と15年1年間で減ったが9日以上たつて発見され
た人は増えた。
【これからの取り組み】
◆1,17の21年目を迎えて20周年の年々より減少したが、中央区東灘地区で
開催された集いには9万1千人が参加。地域によっては遠征行事を
地域もあるが、継続して震災を体験していい世代にも伝えて行くことが
大事。「1,17のつどい」は市民活動団体「神戸・市民交流会」が1998年に
始めたが高齢化のため解散。若い世代のNPO法人に受け継がれた。
2018年は「未来」という文字を浮かびあがらせた。風化させない
◆1995年阪神・淡路大震災では全道からたくさんのボランティアがかけつけ
支援を行いボランティア元年と呼ばれた。
21年目を迎えてボランティアの活動はますます必要とされ多様になってきて
いる。ソーシャルネットワークの活用によってこれまでの被災地では出願しな
った「移動ボランティアセンター」という被災者に寄り添ったシステムがあらわ
れた。2014年8月の広島市で発生した土砂災害の備えなど川のように流れる
道筋に被災者とボランティアが共同作業で土のうを積み、フェイスブックや
ツイッターでボランティア応援を募り、被災者の家や園が急急のボランティア
センターになる。「新しい公共」の取り組みが広がる。
◆神戸市主導で行われた再開発。
(マリンシティと商店街が一体となった複合施設等空き店舗やシャッター通り
となっている所もある。兵庫県と神戸市が共同で1棟を平成2011年度から
新庁舎として建設し、15年度の完成をめざす。
◆2014年に神戸市中央区に開設された「人と防災未来センター」では
「災害メモリアクションKODE」のプロジェクトが始まっている。
震災を知らない若者が体験を聞き新たな語り部として次世代に伝える。
◆震災・学校支援チーム(EARTH)教職員チームの被災地での心のケア
支援活動の取り組みも注目。

＜提言など＞
市民の広島・神戸の理解では松山先生との交流のみが過ぎて参加できなかったが
もう少し事前に良く調べ準備をし「震災メモリアクションKODE」等が下りて下さる人
員をつけて企画するなどして、若い色々々ところで被害がありどう復興したかを体験すれば
良かったのではと思いました。

神戸 松山順三氏 との懇親会

参加者 12名

報告者 田中 喜世美

ドイツワインとふだん口にしないドイツ料理、Mr. 中島のソムリエ解説と松山さんの穏やかな語りで楽しく懇親ができました。

2016「広島と神戸の被災地を巡る」報告書
2016年 1 月 27 日

報告項目: ⑤松山順三氏との懇親会	報告者: 田中 喜世美 (050)
ドイツワインで有名な北野の「Roterose」(ローテローゼ)。参加者は12名	
美味しいドイツ料理をいただきながら、ソムリエ Mr. 中島のワインの味とたしなみ方の講座に耳を傾け、楽しく盛り上がった懇親会になりました。	
松山氏は、阪神淡路大震災から、今もお災害の悲惨さ、防災・減災の大切さを語り続けながら広く活動をされています。	
1. 17から21年が過ぎ、1. 17を経験していない子供たちが増えています。 これからは、被害をいかに減らせるか！ 「若い人たちの人材育成に力を入れていくことが大切」何れ来るであろう関東地方の大震災も、阪神淡路大震災のような直下型が予想されている。など、熱い思いをお願いしていただきました。	
学校関係などでも子供と親の相談員をされるなど、広く活動をされている傍ら、暇を見つけて、絵を贈んだり、ご旅行を楽しんでいるいらっしゃるようです。	
時間があればもっと伺いたいこともありますが、今回初めて参加の A 先生やMさんも、いろいろ質問があったのでは・・・？ 名残惜しさを感じながらのお別れになりました。	
写真は、懇親会の風景と、IT で“絵を見る”で紹介されている松山氏の作品「妙高の夏」	
	
<提言など> 	

●提出: 2/15(月)までにメールで中島宛提出くださるようお願いいたします。
mitsu.nakajima@coral.on.ne.jp

□ Roteroseで楽しく懇親

(日時、震源地、被害状況など)

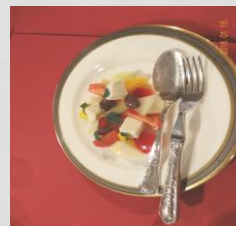
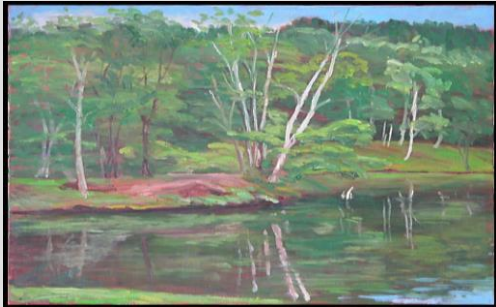
□ 松山市の活動広く

(災害、防災、減災の語り、学校親子相談員、寸暇に絵画や旅)

□ 若者の人材育成が大切

(いまどの世界も同じ現象、何がそうするのか
原点回帰が必要か)

神戸 松山順三氏 との懇親会



神戸 松山順三氏 との懇親会



神戸 阪神・淡路大震災 1.17のつどい

参加者 10名

報告者 増田 佳恵

初めての参加で何もかも新鮮に受止められた。
1.17の慰霊式典に心も体も動かされた。
神戸の関連施設・現地まわり、集会などに
参加できて良かった。



□朝の集い
(竹灯籠、黙とう、遺族のこぼ)

□中心ボランティアの解散
(参考資料1・2)

□提言など
(18回の集い、竹灯籠に臨み、1.17の灯
は優しく象徴、続けたボランティアに、
都市災害対応は市民力)

2016年広島と神戸の被災地を巡る... 報告書

2016年2月15日

報告項目「阪神・淡路大震災1.17のつどい」 報告者:増田佳恵

今回初めて「阪神・淡路大震災1.17のつどい」に参加させていただきました。

朝8時、広島のみなさんと、三原駅近くにある東遊園地へ。公園には、きれいな花とうらうらが1.17の文字に描かれていました。公園に集まったボランティアが、市とつながりをもっていました。

阪神・淡路大震災1.17のつどいには、連年の花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。花が咲き誇る中、この日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

その日、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

この日の朝、公園の中心には、花が咲き誇る中、その日は、花が20歳の子に咲き誇っていました。

(参考2)「1.17のつどい」のつどい

「阪神・淡路大震災1.17のつどい」(2010年1月17日(祝)より)

■神戸・淡路大震災から15年...「阪神・淡路大震災1.17のつどい」神戸・市民交流会へ

1995年1月17日5時46分、阪神・淡路大震災が発生し、多くの命が奪われ、大きな被害を受けた。

その翌日から3年後、1998年1月17日、震災から10年を記念して、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

会場では、神戸・市民交流会が主催する「阪神・淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

<広島 1.17のつどい>

神戸 阪神・淡路大震災 1.17のつどい

初めての参加で何もかも新鮮に受止められた。

1.17の慰霊式典に心も体も動かされた。

神戸の関連施設・現地まわり、集会などに参加できて良かった。



人的被害	死者(関連死含む)	6434人 (6402人)
	行方不明者	3人 (3人)
	重軽傷者	4万3792人 (4万92人)
家屋被害	全壊	10万4906棟 (10万4004棟)
	半壊	14万4274棟 (13万6952棟)
	一部損壊	39万506棟 (29万7811棟)
	合計	63万9686棟 (53万8767棟)
兵庫県など調べ。カッコ内は県内分		

(確定)

阪神・淡路大震災の被害状況

竹灯籠やビルの窓明かりで「1・17」の文字が浮かび上がる神戸の街に、夜明けが来た＝17日朝、神戸市役所から（撮影 田中靖浩）

神戸 市危機管理センター 訪問

調査・報告者 池田 邦昭

1月18日に訪問（17日（日）休館日）。市役所2階、1.17展示場
案内者：三木一弘（防災啓発担当係長）

2016「広島と神戸の被災地を巡る」報告書 2016年 2月12日

神戸市危機管理センター 報告項目：防災展示室訪問他	報告者：池田 邦昭
<主な報告内容> 1. 1月17日が日曜日のため、18日の月曜日訪問しました。 注：土日は10～18時開館 2. 防災啓発担当係長三木一弘氏からお話が聞けました。 3. 市役所2階、1.17展示場：21年目様変わりしました！	
主な目的 ① 神戸市のハザードマップの入手 ② 神戸市の新たな取組み ③ 防災展示室見学（4号館1階） ④ J-DAG（片山さん開発）CD・チラシ提供 ⑤ 市民情報室（2号館2階）	
① 神戸市のハザードマップの入手 特徴は、全市9区のハザードマップが統一して作成。 神戸市で全市9区のハザードマップが入手可能。	
② 神戸市の新たな取組み 昨年6月、土砂災害の危険の高い、54地区のハザードマップ作成。	
③ 防災展示室見学 会館は10時からでしたが、特別に見学させてくれました。 展示が、変更されていました。 持参可能資料、一部入手しました。	
④ J-DAG（片山さん開発）CD・チラシ提供 片山さん開発の、J-DAG CD・チラシ提供し、ご検討をお願いしました。 防災展示室に、かるた等ゲーム展示もありました。	
⑤ 市民情報室 神戸市広報・全市9区のハザードマップ入手可能です。	
<提言など> * 事前に予約し、市の施策・市民活動等お話を聞く機会を検討しては思いました。	

●提出：2/15（月）までにメールで中島宛提出くださるようお願いします。
mitsu.nakajima@coral.ocn.ne.jp

□様変わりの1.17展示場

（21年目、市役所2F）

□情報入手と提供（入手：ハザードマップ、新たな取組み、防災展示室見学 提供：J-DAG CDとチラシ及び検討お願い）

□提言

（予約で、施設・市民活動を知る機会を）

神戸 市危機管理センター 訪問

調査・報告者 池田 邦昭

1月18日に訪問（17日（日）休館日）。市役所2階、1.17展示場
案内者：三木一弘（防災啓発担当係長）



- 様変わりの1.17展示場
- 情報入手と提供（入手：ハザードマップ、新たな取組み、防災展示室見学）



広島土砂災害 **－忘れまい 8.20－**
阪神・淡路大震災 **－1.17は忘れない－**

- ・ 災害は繰返す
- ・ 風化させない
- ・ 教訓を活かす

おわり

広島土砂災害 **－忘れまい 8.20－** **阪神・淡路大震災** **－1.17は忘れない－**

【参考資料等出所】

- 『富士山と酒匂川』 （足柄の歴史再発見クラブ）
- 『3.11東日本大震災 1ヵ月の記録』 （河北新報社）
- 『富士山大噴火』 （県立歴史博物館）
- 『禹王（文命）を探る』 （足柄の歴史再発見クラブ）
- 『絆 高校生のため防災ノート』 （静岡県教育委員会）
- 足柄の歴史再発見クラブ会員、他

「足柄の歴史再発見クラブ」

2013.6/14、hideki kobayashi